

S.E.N.S の会石川 会員の皆様へ

S.E.N.S.の会石川支部会 研修会のご案内

新学期が始まり、慌ただしい日々をお過ごしのことと存じます。

2022年度 第1回研修会を下記の通り開催いたします。

今回の研修会は会員の方だけではなく、特別支援教育に関心の高い教育関係者の方の参加も可能です。会員以外の方を対象としたチラシ(両面印刷)を添付しましたので、ご活用ください。

記

1 日 時 : 2022年6月19日(日) 10:00~16:00

2 場 所 : 金沢勤労者プラザ 103研修室 (金沢市北安江 3-2-20)

3 内 容 : 午前部 10:00~12:00

事例報告「金沢中央高校における通級による指導について」

石川県立金沢中央高等学校 教諭 東野 佳子 先生

午後部 13:00~16:00

講義「発達課題のある子ども達の思春期から青年期にかけての

理解と支援 ~自律に向けた支援の取り組み~」

NPO 法人ラヴィータ研究所 理事長 米田 和子 先生

4 参加費 : 一般 1000 円

会員 1日参加 2000 円 、 半日参加 1000 円

(更新ポイントは、1日(5時間)参加=2P、午後部(3時間)のみ参加=1Pです。)

5 その他 : 対面式による研修会となります。

6 申し込みの手続き :

(1)下記アドレスまでメールでお申し込みください。

[事務局]sens_ishikawa@yahoo.co.jp 【締め切り 5月30日(月)】

* メール本文に下記の①~⑤を記入してください。

① 氏名

② 所属

③ 登録番号

④ 会員番号

⑤ 参加について 1日参加 ・ 午前部のみ ・ 午後部のみ

(2)参加費は、当日、受付でお支払いください。

◎米田先生からのメッセージ:

私は34年間小学校現場において、通常の学級担任及び支援学級担任、通級指導担当として特別支援教育に関わってきました。と同時に堺LD研究会と堺のLDなどの子どもを持つ親の会を立ち上げ、その中で中高生を対象にして10年間月一回のソーシャルスキルの会を続けてきました。20年前の子ども達や保護者は学校でも居場所がなく、孤立したり、不登校になったり、帰宅しても友達がない状況でした。そんな中、月一回のソーシャルスキルの場は、唯一仲間と一緒に学習したり、買い物や料理をしたり、時には宿泊したり、学習発表をしたりと自分の持つ力を自信をもって出せる場所でした。その子ども達も就労、自立生活へと進んでいく中、親離れができない、自活ができない、職場での人間関係がうまくいかずに離職を繰り返すなどの現状と向き合う日々です。

2年間大学での発達障害学生の支援に関わった時にも、教育の場と就労の場の隔たりの大きさをどうつなげていくかが大きな課題でした。現在、就労移行支援事業所の理事として、当事者と保護者の支援にもかかわっていますが、就労に向けて当事者と保護者の思いがぶつかり合って前に進めないという事例にも出会います。ここ2~3年は障害者差別解消法に依る合理的配慮の実施が広がり、発達課題を抱える子ども達への支援も随分と手厚くなってきました。その反面、支援を受けることが当たり前になってしまい、子ども自身が自分が何ができ、困難さをどう乗り越えていけばよいかを自問自答することもなく、社会に出てしまい、自律できないまま障害者就労の中で悶々としている姿にも出会います。

仮死状態で生まれた35歳になる次女はLDとADDを抱えながら、大学まで何の支援も受けることなく一般就労して一年目につまずきました。適応障害で精神障害者保健福祉手帳2級を取得し、1年半の就労移行支援を受け、無印良品計画に障害者就労で8年間勤務し、その後一般就労に戻り介護職で2年半、一人で頑張っています。次女の場合は特に女子の発達障害が抱えやすい、結婚のつまずき、仕事や家事での優先順位のつけにくさなどの課題をどう解決するかが大きな課題でした。

今回は、これまで関わった思春期から青年期にかけての子ども達との関わりから、発達課題を持ちながらも、どう自律した人生を歩んでいけるのか、そのために保護者や支援者がどのようなかわりをしていく必要があるのかをお話できればと思います。